



## 2020年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年4月10日

上場会社名 アウンコンサルティング株式会社  
 コード番号 2459 URL <https://www.auncon.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員  
 四半期報告書提出予定日 2020年4月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 信太 明  
 (氏名) 高橋 重行  
 TEL 03-5803-2727

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年5月期第3四半期の連結業績(2019年6月1日～2020年2月29日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第3四半期	1,450	4.0	45		41		48	
2019年5月期第3四半期	1,394	1.3	20		5		4	

(注) 包括利益 2020年5月期第3四半期 47百万円 ( %) 2019年5月期第3四半期 6百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第3四半期	6.43	
2019年5月期第3四半期	0.63	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第3四半期	1,268	711	56.1
2019年5月期	1,239	758	61.2

(参考) 自己資本 2020年5月期第3四半期 711百万円 2019年5月期 758百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期		0.00		0.00	0.00
2020年5月期		0.00			
2020年5月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,065	9.9	20		15 ～28	40.0 ～9.6	13 ～24	41.4 ～24.0	1.76 ～3.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年5月期3Q	7,502,800 株	2019年5月期	7,502,800 株
期末自己株式数	2020年5月期3Q	株	2019年5月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年5月期3Q	7,502,800 株	2019年5月期3Q	7,502,800 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年6月1日～2020年2月29日）におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移していたものの、消費税の増税に伴う個人消費の落ち込みなどにより、景気後退感が強まりました。また、世界経済においては、米中貿易摩擦や欧州の政治情勢、近隣諸国における地政学的リスク、並びに新型コロナウイルス感染症の拡大等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主たる事業領域である国内インターネット広告市場につきましては、大規模プラットフォームを中心に堅調な伸びが続いており、2019年のインターネット広告費は2兆1,048億円（前年対比19.7%増）となり、テレビメディアの1兆8,612億円を上回りました（株式会社電通「2019年日本の広告費」）。

また、インバウンド市場においては、日韓関係の悪化を受け、韓国からの訪日客数が大幅に減少したものの、ラグビーワールドカップ2019日本大会開催による欧米豪からの訪日客の増加したことに加え、東南アジアからの訪日客は好調を維持したことで、2019年の訪日外国人旅行者数は、前年対比2.2%増の3,188万人となりました（日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」）。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響で訪日外国人の旅行キャンセルが相次いだことにより、2020年1月から2月までの訪日外国人旅行者数は、前年対比29.2%減の374万6千人となりました（日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」）。世界的な大流行の懸念に起因する経済活動の萎縮ムードより、インバウンド業界だけではなく、世界的な経済リスクの懸念が生じております。

このような状況の中、当社グループは収益力の安定と拡大を最優先課題とし、「マーケティング事業における多言語・海外向けサービスの収益拡大」、「新たなビジネスモデルの創出」、そして、「人材採用・育成・組織体制の強化」に注力し、当社が持つ多言語マーケティングのノウハウと、海外法人とのネットワークを活用した付加価値の高いサービスを提供することで、幅広い需要を取り込むことができました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,450,142千円（前年同期比4.0%増）、営業損失は45,357千円（前年同期は営業損失20,969千円）、経常損失は41,213千円（前年同期は経常利益5,940千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は48,216千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益4,762千円）となりました。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

#### ① マーケティング事業

マーケティング事業は、SEO（検索エンジン最適化）、PPC（検索連動型広告）、ソーシャルメディア、スマートフォン広告などの企業のマーケティング活動を支援する各種サービスを日本語及び、多言語で国内外の企業に提供しております。

アジア圏における旺盛な日本旅行需要を背景に、成長分野である多言語（日本語以外の言語）プロモーション領域において、官公庁・自治体関連の入札案件への参加及び、セールスプロモーションの強化など、新規営業に注力してまいりました。

また、当社及び海外法人の経営資源（人・情報）を連携し、相互に有効活用したことで、付加価値の高いサービスを提供することができ、幅広い需要を取り込むことができました。

当第3四半期連結累計年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、インバウンド関連の広告出稿の停止等の影響が発生しておりますが、官公庁・自治体関連の入札案件及びその他一部の業界においては、広告出稿の停止は発生しておらず、今後も継続的な出稿を見込んでおります。

また、例年以上にクライアントの決算月である3月に売上利益が集中しているため、第4四半期に売上利益の増加を見込んでおります。

今後、新型コロナウイルス感染症の拡大が収束後に再び拡大が予想される海外・多言語マーケティングの需要拡大に備え、グローバル人材の採用及び教育に対する投資を継続的に取り組んでまいります。

以上の結果、当事業における売上高は1,434,431千円（前年同期比9.7%増）、セグメント利益は108,048千円（前年同期比10.8%増）となりました。

## ② アセット事業

アセット事業は、当社グループの海外進出の経験により蓄積した知見を活かし、企業用のオフィスや海外出向者向けのコンドミニアムなどインフラ提供や海外不動産の販売及び仲介を行っております。

前連結会計年度においては、フィリピンの連結子会社が保有する販売用不動産の売却及び、顧客保有物件の転売が売上拡大に寄与したものの、当第3四半期連結累計年度においては、フィリピン国内の物件価格が値上がり基調にあることやフィリピンペソが円高で推移していることを考慮し、物件の転売等については、積極的に実施しておりませんでした。その結果、前年対比で売上及び、利益はマイナスで推移したものの、ベトナムにおける新規物件の開拓、プロモーション活動や取次店の開拓等、積極的な活動を継続する事で今後の足がかりを築いてまいりました。

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、海外現地での不動産物件の内見等が行えない状況となっておりますが、オンライン商談システム等を活用した営業活動の継続により安定的に収益を獲得するとともに、新型コロナウイルス収束後を見越した活動を強化しております。

以上の結果、当事業における売上高は15,710千円（前年同期比81.9%減）、セグメント損失は25,198千円（前年同期はセグメント利益5,175千円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.5%減少し、952,813千円となりました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて16.1%増加し、315,692千円となりました。これは、主に建設仮勘定の増加によるものであります。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて31.8%増加し、434,558千円となりました。これは、主に短期借入金の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて18.8%減少し、122,927千円となりました。これは、主に長期借入金の減少によるものであります。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6.2%減少し、711,021千円となりました。これは、主に利益剰余金の減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間に関しましては、概ね計画通りに推移しているため、2019年7月12日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示して参ります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	608,627	557,559
受取手形及び売掛金	240,369	263,844
販売用不動産	41,688	42,519
仕掛品	1,091	620
その他	77,102	94,353
貸倒引当金	△1,776	△6,083
流動資産合計	967,102	952,813
固定資産		
有形固定資産		
建物	36,066	30,166
減価償却累計額	△21,298	△21,547
建物(純額)	14,767	8,619
工具、器具及び備品	42,128	42,638
減価償却累計額	△37,617	△38,862
工具、器具及び備品(純額)	4,511	3,776
建設仮勘定	44,974	99,058
有形固定資産合計	64,253	111,454
無形固定資産		
ソフトウェア	2,742	2,025
その他	-	1,200
無形固定資産合計	2,742	3,225
投資その他の資産		
投資有価証券	166,469	168,435
長期貸付金	5,841	-
敷金及び保証金	30,922	31,364
その他	1,762	1,213
貸倒引当金	△22	-
投資その他の資産合計	204,973	201,013
固定資産合計	271,969	315,692
資産合計	1,239,072	1,268,506
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	185,814	214,365
短期借入金	-	80,000
1年内返済予定の長期借入金	46,879	46,879
未払費用	25,876	29,719
未払法人税等	5,251	3,749
前受金	20,610	22,659
賞与引当金	1,510	1,833
その他	43,685	35,350
流動負債合計	329,629	434,558
固定負債		
長期借入金	121,013	86,693
長期前受金	26,911	32,206
その他	3,328	3,980
繰延税金負債	61	47
固定負債合計	151,314	122,927
負債合計	480,944	557,485

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	341,136	341,136
資本剰余金	471,876	471,876
利益剰余金	△54,403	△102,620
株主資本合計	758,608	710,391
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139	107
為替換算調整勘定	△621	521
その他の包括利益累計額合計	△481	628
非支配株主持分	0	0
純資産合計	758,127	711,021
負債純資産合計	1,239,072	1,268,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2020年2月29日)
売上高	1,394,244	1,450,142
売上原価	1,008,557	1,073,480
売上総利益	385,686	376,661
販売費及び一般管理費	406,655	422,019
営業損失(△)	△20,969	△45,357
営業外収益		
受取利息	155	328
解約手数料等	241	226
為替差益	6,940	1,463
投資事業組合運用益	18,061	2,893
その他	2,033	972
営業外収益合計	27,433	5,884
営業外費用		
支払利息	495	746
支払補償費	-	630
その他	28	363
営業外費用合計	523	1,739
経常利益又は経常損失(△)	5,940	△41,213
特別利益		
固定資産売却益	-	1,736
新株予約権戻入益	72	-
特別利益合計	72	1,736
特別損失		
事務所移転費用	617	-
貸倒引当金繰入額	-	4,025
特別損失合計	617	4,025
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	5,395	△43,502
法人税、住民税及び事業税	633	4,714
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,762	△48,216
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	4,762	△48,216



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,762	△48,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,942	△32
為替換算調整勘定	4,709	1,142
その他の包括利益合計	1,766	1,110
四半期包括利益	6,528	△47,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,528	△47,106
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	マーケティング事業	アセット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,307,255	86,989	1,394,244	—	1,394,244
セグメント間の内部売上高又は振替高	164	—	164	△164	—
セグメント利益又は損失(△)	97,515	5,175	102,690	△123,659	△20,969

(注) 「調整額」の区分については以下のとおりであります。

1. セグメント利益又は損失は、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	マーケティング事業	アセット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,434,431	15,710	1,450,142	—	1,450,142
セグメント間の内部売上高又は振替高	245	—	245	△245	—
セグメント利益又は損失(△)	108,048	△25,198	82,849	△128,207	△45,357

(注) 「調整額」の区分については以下のとおりであります。

1. セグメント利益又は損失は、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。